

平成28年度

# 会員集会開催

平成29年3月4日 於 刈谷市産業振興センター

# 西三河



第四十九回支部会員展会期中、平成二十八年度支部会員集会在開催されました。来賓として本部より理事長伊藤昌石先生、理事兼半田支部支部長山内江鶴先生のご臨席を賜りました。

山口律舟支部長による挨拶の後、議長に加藤矢舟支部次長が選出され、次第順に議案が可決成立し、無事終了いたしました。

また、役員改選の年でありましたが、山口支部長が再任され、西三河支部創立五十周年という節目の年を迎える次年度に向け、意気込み新たな再スタートとなりました。

## 平成二十九年度 事業計画

### 第50回記念学生書道展

会期 平成29年7月7日(金)  
↓9日(日) 6日陳列

### 会場 岡崎市美術館

### 事務局研修旅行

期日 平成29年10月31日(火)  
場所 未定

### 第50回記念会員展

会期 平成30年2月21日(水)  
↓25日(日) 20日陳列

### 会場 岡崎市美術館

### 平成29年度会員集会

期日 平成30年2月25日(日)  
会場 岡崎商工会議所

### 講演会・交流会

期日 平成30年2月25日(日)  
講師 未定

### 研究会

期日 平成30年3月18日(日)  
講師 支部中日展審査員・役員

### 会場 岡崎商工会議所

### 支部報発行

73号 6月1日 74号 12月1日

### 運営・企画委員会等 随時

### 会場 安城市民会館

### 支部報発行

73号 6月1日 74号 12月1日

### 運営・企画委員会等 随時

行 人 会 部  
法 道 支  
社 日 書 河  
益 中 部  
公 西  
〒446-0043  
安城市城南町1-17-14  
山 口 律 舟  
編 集  
西三河支部広報部



## 支部長に再任されて

### 支部長 山口律舟

新緑の美しい季節、時折日差しの強さを感じる今日この頃になってまいりました。二年前、丹羽常見前支部長からバトンを受け、皆様のご協力のお陰で一期終えることができました。あつという間の二年、心から感謝申し上げます。そしてこの度、二期目の職責を務めさせていただくことになりました。今年度は特に、七月に開催予定の第五十回記念学生書道展、二月には支部創立五十周年記念会員展があり、ますます身の引き締まる思いでございます。力不足ではありますが、向こう二年ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

人生を続けるには、やはりチャレンジ精神を持ち続けることが大事であるということなのでしょう。そして、人との出会いを大切に、人間性を磨かれた結果が今の山本昌さんなのだと思います。少子高齢化が進むなか、書に限らず信頼の積み重ね、技術とノウハウの積み重ね、一期一会を大切に、次に繋げることが大事なことであり、実感させられた講演でした。

今年には各国のトップリーダーが替わり世界情勢が大きく揺れ動いています。また自然災害、事故、事件がひっきりなしに耳に入ります。落ち着かない世の中ではございますが、一時でも心の余裕を持たせてくれる「書」があることに、私たちは感謝したいと思えます。そしてこの伝統ある書の文化を長く続けてまいりましょう。

最後に平成二十九年度事務局員、全力で取り組んでまいります。変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ど人間離れしているか。長く野球

副運営委員長を受けて



副運営委員長 築山みなみ

平成二十九年度の役員改選により、副運営委員長を拝命することとなりました。微力な私でありますが、少しでも皆様のお役に立つことができよう精一杯頑張りたいと思います。

一期二年間事務局長として務めさせて頂きました。その間、力不足で事業推進のための準備等大変な思いもしましたが、山口律舟支部長をはじめ、事務局次長・事務局員、会員の皆様にご指導・お力添えを頂き、任を終えることができました。この場をお借りして心より深く感謝申し上げます。

今年度は、支部にとって第五十回記念となる学生書道展・会員展が開催される大きな節目の年に当たります。両展の内容や記念事業の円滑な運営ができるように尽力していきたいと思っています。そのためには、これまで以上の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

副運営委員長を受けて



副運営委員長 山岸邦山

経理部でお世話になって数年、経験不足で、ご迷惑ご心配をおかけしましたが、皆様のおかげで何とか務めることが出来ました。この度は、副運営委員長という大役を拝命いたしました。経験豊富な諸先生方が多くいらっしゃるなか、私に果たしてこの大役が務まるのか、不安と責任の重さを感じております。山口律舟支部長を始め、事務局員皆様のご指導をいただき、微力ではありますが精一杯務めさせていただきますと思います。

今年度は、学生書道展、会員展とも第五十回記念ということもあり、大きな節目の年でもございます。支部の活動は、多くの会員の皆様方のお力添えで成り立っております。これからも、忌憚のないご意見、ご指導を賜り、盛大に記念事業が開催出来るように努めたいと思っております。

会員の皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

事務局長をお受けして



事務局長 鳥居竹泉

事務局のお手伝いをさせていただくようになって、早いもので二十年以上が過ぎました。その間には、家族の介護や自身の入院手術など人並みに経験しました。幼かった二人の娘も家庭を持つようになりました。

長い間、教育部に携わらせていただきましたが、山口律舟支部長就任と共に、事務局次長のひとりとして「皆様のお荷物にならないように：」を心がけて参りました。しかし、今回の異動で突然お声がかかり、このような文章を書かなくてはならないことに：。歴代の先生方の大変な様子を拝見していたので、不安で仕方ありませんが、お受けした以上、ご迷惑をおかけしないように、務めさせていただきますたいと存じます。

支部創立五十周年の記念すべき節目の一年がスタートしました。ご家庭やお仕事など、各々ご事情があるかと存じますが、皆様のご指導とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

支部講演会

演題 「歴史がつなぐ三河の心」

刈谷市副市長 川口孝嗣 先生

平成二十九年三月四日  
刈谷市産業振興センター  
聴講参加者 一二三名

今年度は会場が岡崎から刈谷に移ったご縁ということで、刈谷市副市長の川口氏にご講演いただきました。

「刈谷」という地名のルーツは出雲から移り住んだ「狩谷出雲守」の名前から、という話題から始まり、その後はご自身が作詞をされたPRソング「いざ出陣/刈谷城」の歌詞をもとに、刈谷と西三河の歴史、そして西三河人の気質についてお話しいただきました。刈谷出身で家康の母・於大が若くして大変思慮深い女性だったこと。刈谷市のマスコットキャラクター「タロー」にもなっている初代刈谷藩主・水野勝成が全国の名将に仕え、その勇猛さをもって活躍したこと。明治維新の折に刈谷で起こった事件や、明治・大正にかけての西三河の発展について。そして「堅実・自立・独歩」の精神をもつ西三河人の気質は、それらの歴史に基づくものであろうということなど、大変興味深く拝聴しました。

現在、刈谷市の事業として刈谷城の復元を進められているという



# 第49回会員展

平成29年3月1日↓5日



刈谷市美術館

出品点数 一七八点

入場者数 九二六人



## 研究会

### 「中日展作品研究」

平成29年3月19日(日)

安城市文化センター

参加点数 一一〇点



### 第67回 中日書道展

当番番査員(支部関係)

特別賞選考委員

一科 漢字 加藤矢舟 横山夕葉  
 かな 築瀬舟香 山口律舟

二科 漢字 鈴木美都子 波切董州  
 岡田恵鶴 竹内由美

かな 朝岡 伸 内藤幸代  
 植田錦舟 小嶋真海

少数 石塚美根子 犬塚玉陽  
 杉田節子

## 平成29・30年度 西三河支部役員 事務局員

顧問 佐々木崑邦 井野吟紅

倉重拜石 高橋秀箭

参事 横山夕葉 丹羽常見

高須大河 小嶋和晃

中村公芳 柴田秋水

松原南流

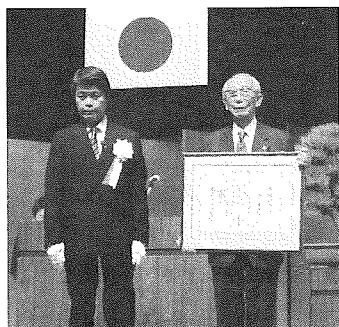
築瀬舟香 山下和芳

加藤翠林 界外玉桜

鈴木京楓

### 祝 市政功労者表彰

西三河支部顧問・佐々木崑邦先生が、去る三月四日、豊田市制六十六周年記念式典において、豊田市の文化の振興に尽くされたとして、市政功労者表彰を受けられました。太田豊田市長からは「今後も健康に留意し、豊田市の発展のために引き続き協力いただきました」と賛辞を贈られたそうです。



豊田市長と佐々木先生

支部次長 山口律舟

磯谷凌聴 加藤矢舟

加藤松雲

堂前蒼雲

本間翠眉

山岸邦山

磯谷凌聴

石川明加

犬塚玉陽

榎本康代

太田邦泉

尾野蒼邨

加藤一次

加藤松雲

神谷光園

川角蘭香

倉内秀佳

近藤由紀枝

柴田玲甫

杉坂育子

鈴木稲水

高井香園

竹内紫燕

田村泉舟

都築妙光

永田美幸

萩原祐子

半田博子

藤原郁代

物部浩子

山本香川

### 企画委員

山口律舟 磯谷凌聴 加藤矢舟

加藤松雲 常前蒼雲 本間翠眉

築山みなみ 山岸邦山 鳥居竹泉

萩原祐子 深津洋子 物部浩子

鈴木翔山 小野田晃志 米津美華

遠山正幸 鈴木美都子 神谷光園

加藤喜峰 岡田恵鶴

事務局次長 鳥居竹泉

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

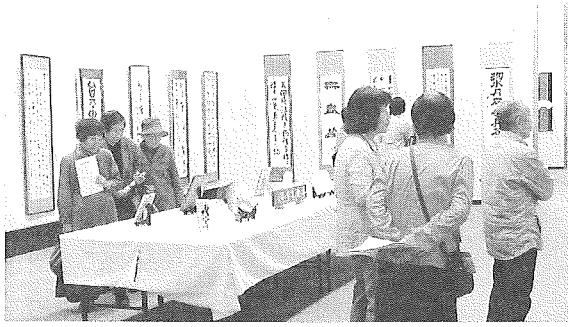
事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子

事務局次長 萩原祐子 鈴木翔山

事務局次長 深津洋子 物部浩子



光墨会楽々小品書展  
平成29年4月4日～9日

半年かけて改修された岡崎市美術館の初回展示を受け、初日から大勢の参観を得て盛況裡に終わりました。

来年は三十回記念展として開催致します。是非ご来場ください。(小嶋和晃)



第8回 桜花学生書道展  
平成29年4月14日～16日

新学年になる前の「一年の集大成」として、自由に選んだ題材を力いっぱい元気書いた半切・四ツ切サイズの作品展。自分の作品を見上げた子どもさんの目は、誇らしげに輝いていました。

(鳥居竹泉)



第5回 白圭社書法篆刻展  
一日中書法篆刻交流展  
平成28年10月26日～30日

名古屋市博物館において、篆刻軸装作品を中心に書作品や工筆画及び印材が陳列された。中国側は40点の作品が参加。総出品数は263点。(丹羽常見)



安城文化協会創立70周年記念  
第10回記念夕照会書展  
平成28年11月30日～12月4日

今回は、会員60名が臨書と創作を一点ずつ出品しました。中国の古代から清代まで幅広い時代の臨書、さまざまな書体、淡墨、濃墨、小作品から大作まで、多様な展覧会となりました。(神谷光園)

にしみかわスナツプ

おでかけください

(広報部到着分)

第9回 雙根会書展 (加藤矢舟)

6月30日(金) ↓ 7月2日(日)

豊田市民文化会館

第32回 吉祥展 (柴田秋水)

8月18日(金) ↓ 8月20日(日)

安城市民ギャラリー

第37回 墨豊会書展 (佐々木富邦)

9月1日(金) ↓ 9月3日(日)

豊田市民文化会館

第27回 鷺鷹会展

9月8日(金) ↓ 9月10日(日)

安城市文化センター

第42回 松濤書展 (加藤松雲)

9月9日(土) ↓ 9月10日(日)

西尾市吉良町公民館

第31回 遠山墨友会展 (遠山正幸)

9月16日(土) ↓ 9月21日(木)

碧南市文化会館

第6回 白圭社書法篆刻展

10月11日(水) ↓ 10月15日(日)

名古屋博物館

寄託

平成二十八年十二月二十二日

中部日本書道会本部の「年末チャリティー募金」の支部への分配金十万円を、山口支部長と三名の支部次長が中日新聞岡崎支局を訪れ、中日新聞社会事業団の「年末助け合い運動」に寄託しました。

第33回 光墨会書作展 (小嶋和晃)

11月1日(水) ↓ 11月5日(日)

岡崎市美術館

第13回 墨游書会展 (高橋秀箭)

11月15日(水) ↓ 11月19日(日)

岡崎市美術館

第11回 夕照会書展 (横山夕葉)

11月15日(水) ↓ 11月19日(日)

安城市民ギャラリー

第34回 書門展 (山下和芳)

11月17日(金) ↓ 11月19日(日)

岡崎市竜美丘会館

訃報

心より哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

○1月4日

評議員 鳥居竹泉氏

ご尊父 都築良昭様

享年88歳

○4月5日

評議員 築山みなみ氏

ご母堂 みさ子様

享年91歳

○5月1日

評議員 待田康苑氏

享年86歳

後記

我が広報部も、今回の事務局の異動で少し変動がありました。また、何よりも今年度の各五十周年記念事業に対する広報部の役割、身の引きしまる思いです。(加藤)